

## 心に残る文化財子ども塾 飯南町立来島小学校 6年生

1 時間目は、学校周辺の遺跡から出土した遺物について学習しました。初めは、縄文時代の食に関する学習です。用意したのは、黒曜石の矢じり、ドングリやクルミを割ったり、潰したりした石器、煮炊きや貯蔵、盛りつけに使った土器です。海岸部から塩を作って運んだ土器片にも興味をもってもらえたようです。



今回は、地元の赤名八幡宮さんにもご協力頂き、石斧や須恵器など、地元出土の貴重な遺物を見てもらうことができました。中でも、古代の耳環（イヤリング）には、皆、興味津々でした。

2 時間目からは、地域の遺跡見学をおこないました。実は、今、小学校のあるところが、「来島小学校脇遺跡」です。

さらに、バスで5分のところに前方後円墳もあります。授業で習う有名な古墳のように大きくはありませんが、地域の有力者だったと思われる人物のお墓です。右の写真は、児童の誰かが大きな石の間に何かを発見！さっそく調査員が調べていました。



続いて、訪れたのは、石見銀山から尾道まで続く銀山街道。舗装された間に、昔からの状態で残っている部分があります。

山を切り開いて道を作った名残の残る場所や現在の舗装の道をどんどん進みます。途中、当時の道幅も測ってみました。

暑い中、みんなでがんばってたどり着いたのが、最後の目的地の方墳です。横から見ても、上によっても、形がよくわかります。



来島小学校のみなさん、小学校周辺にも昔から人々が暮らし、古墳も作られていたことを知って頂けたでしょうか。また、機会があれば地域について調べて見て下さい。ありがとうございました！